



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 グローム・ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8938 URL <https://www.glome-holdings.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 正純  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 涌井 弘行 TEL 03-5545-8101  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	484	△61.8	△96	—	△124	—	△99	—
2023年3月期第2四半期	1,267	9.4	111	△16.1	238	64.9	249	126.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △94百万円（—%） 2023年3月期第2四半期 253百万円（133.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△10.99	—
2023年3月期第2四半期	27.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,480	7,886	90.9
2023年3月期	8,432	8,006	93.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,709百万円 2023年3月期 7,849百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,095	△39.1	77	△12.7	70	△73.8	53	△84.6	5.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	9,051,000株	2023年3月期	9,051,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	614株	2023年3月期	570株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	9,050,415株	2023年3月期2Q	9,050,430株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(連結の範囲の変更) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### 定性的情報

#### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は売上高484百万円(前年同四半期比61.8%減収)、営業損失96百万円(前年同四半期は営業利益111百万円)、経常損失は124百万円(前年同四半期は経常利益238百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は99百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益249百万円)となりました。

営業損失の主な要因は、当社の連結子会社であるグローム・マネジメント株式会社において、貸倒引当金繰入額111百万円を販売費及び一般管理費に計上したためです。

#### ①医療関連事業セグメント

売上高418百万円(前年同四半期比32.9%減収)、営業利益75百万円(前年同四半期比70.7%減益)となりました。

アライアンス先医療機関が保有する総病床数は5,097床、アライアンス先施設の内訳は無床診療所6施設、有床診療所8施設、病院(介護医療院を含む)26施設、介護老人保健施設11施設の計51施設で前連結会計年度末と変化ありません。

当第2四半期連結累計期間における新規のアライアンス獲得は有りません。

#### ②不動産関連事業セグメント

売上高66百万円(前年同四半期比89.7%減収)、営業利益20百万円(前年同四半期比78.6%減益)となりました。固定資産の2件、引き続き不動産の賃貸事業を行なっております。

- ・北海道釧路市所在の商業施設
- ・北海道留萌市所在の商業施設

#### (2) 財政状態に関する説明

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比して0.6%増加し、8,480百万円となりました。主な要因は、1年内回収予定長期貸付金102百万円の減少、貸倒引当金112百万円の増加があった一方で、営業貸付金77百万円及び、福山医療器株式会社の連結によりのれん86百万円、売掛金45百万円、土地30百万円の増加があったことによります。

##### (負債)

負債は前連結会計年度末に比して39.4%増加し、594百万円となりました。主な要因は、賞与引当金57百万円、未払法人税等18百万円の減少があった一方で、福山医療器株式会社の連結により支払手形及び買掛金127百万円、その他流動負債38百万円の増加があったことによります。

##### (純資産)

純資産は前連結会計年度末に比して1.5%減少し、7,886百万円となりました。主な要因は、新株予約権19百万円の増加があった一方で、利益剰余金144百万円の減少があったことによります。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月9日付「(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期決算短信(日本基準)(連結)」の一部訂正について」で発表した業績予想より変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,964	2,942
売掛金	77	122
営業貸付金	888	965
商品及び製品	5	10
原材料及び貯蔵品	0	0
短期貸付金	236	8
1年内回収予定の長期貸付金	883	781
その他	166	188
貸倒引当金	△170	△282
流動資産合計	5,051	4,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	750	743
土地	704	734
その他(純額)	15	16
有形固定資産合計	1,470	1,494
無形固定資産		
のれん	-	86
その他	4	4
無形固定資産合計	4	91
投資その他の資産		
投資有価証券	814	813
長期貸付金	987	1,215
繰延税金資産	16	31
敷金及び保証金	59	62
その他	486	492
貸倒引当金	△457	△457
投資その他の資産合計	1,907	2,158
固定資産合計	3,381	3,744
資産合計	8,432	8,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	-	127
未払法人税等	38	19
賞与引当金	58	1
その他	165	278
流動負債合計	262	427
固定負債		
長期借入金	-	0
資産除去債務	18	18
長期預り敷金保証金	145	145
その他	0	2
固定負債合計	164	166
負債合計	426	594
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,049	3,049
資本剰余金	3,012	3,012
利益剰余金	1,798	1,654
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,859	7,715
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10	△5
その他の包括利益累計額合計	△10	△5
新株予約権	156	176
純資産合計	8,006	7,886
負債純資産合計	8,432	8,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,267	484
売上原価	565	73
売上総利益	701	410
販売費及び一般管理費	590	507
営業利益又は営業損失(△)	111	△96
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	107	-
違約金収入	27	-
その他	1	0
営業外収益合計	137	0
営業外費用		
支払利息	2	-
持分法による投資損失	-	6
子会社株式取得関連費用	-	21
その他	7	1
営業外費用合計	10	28
経常利益又は経常損失(△)	238	△124
特別利益		
受取保険金	-	9
債務返還引当金戻入益	88	-
出資金評価損戻入益	-	1
特別利益合計	88	11
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別調査費用	10	-
関係会社整理損	24	-
特別損失合計	35	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	291	△112
法人税等	39	△13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	251	△99
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	249	△99

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	251	△99
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	-
持分法適用会社に対する持分相当額	1	4
その他の包括利益合計	1	4
四半期包括利益	253	△94
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256	△94
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、福山医療器株式会社の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めています。なお、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しています。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については、年度決算と同様の方法により計算してましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	医療関連	不動産関連	計			
売上高						
業務受託収入	491	5	496	496	-	496
業務受託アップフロント収入	-	-	-	-	-	-
その他	132	514	646	646	-	646
顧客との契約から生じる収益	623	519	1,143	1,143	-	1,143
その他の収益	-	124	124	124	-	124
外部顧客への売上高	623	643	1,267	1,267	-	1,267
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	623	643	1,267	1,267	-	1,267
セグメント利益	258	94	353	353	△241	111

(注) 1 セグメント利益の調整額△241百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△258百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	医療関連	不動産関連	計			
売上高						
業務受託収入	367	4	372	372	-	372
業務受託アップフロント収入	-	-	-	-	-	-
その他	50	-	50	50	-	50
顧客との契約から生じる収益	418	4	422	422	-	422
その他の収益	-	62	62	62	-	62
外部顧客への売上高	418	66	484	484	-	484
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-	-
計	418	66	484	484	-	484
セグメント利益又は損失(△)	75	20	95	95	△192	△96

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△192百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△203百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、福山医療器株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「医療関連」セグメントにおいてのれんが発生しています。当該事象によるのれん発生額は86百万円です。

(企業結合等関係)

(福山医療器株式会社の株式の取得(子会社化))

当社は、2023年9月25日開催の取締役会において、福山医療器株式会社の株式を100%取得し、子会社化することについて決議し、9月29日に株式を取得し子会社化しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業内容

被取得企業の名称	福山医療器株式会社
事業内容	医療用機械器具卸売業(歯科用機械器具を含む)、医療用品卸売業

② 企業結合を行った主な理由

当社グループでは、主力事業である医療関連事業に関し、アライアンス先医療機関(以下「アライアンス先」)への経営支援コンサルティングに不可欠である医療機器を専門に扱う企業との提携やM&A等を模索しておりました。医療機関で扱う医療機器は診断に不可欠な精密機器であるため高額な機器も多く、それらの導入に伴う医療機関の負担も微小なものではありません。当社グループのアライアンス先においても、老朽化やメンテナンスの打ち切り等により、医療機器の入れ替え需要は高く、アライアンス先の要望する医療機器を可能な限り安価に導入することが可能であれば、アライアンス先の負担は軽減されます。その結果、当社グループは、アライアンス先に、より一層質の高いサービスを提供することを実現することが可能になり、アライアンス先の経営支援に寄与することが可能になります。

当社グループでは、医療機器に関するアライアンス先の需要に対し、専門的かつ豊富な医療機器の販売実績及び経験を備えた福山医療器株式会社の紹介を受け、株式の譲渡を強く希望されていた同社株主の要望を受けて検討を重ねてまいりましたところ、同社を連結子会社化することにより、アライアンス先の医療機器需要に対するシナジー効果が期待できることから、当社による同社株式の取得を決定いたしました。

③ 企業結合日

2023年9月29日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定することに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

(2) 四半期連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末日としているため、当第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれていません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現金 210百万円

(4) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー費用等 21百万円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれんの金額

86百万円

②発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力です。

③償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却